

自主防災会向け

# ボウサイ通信

令和4年4月号

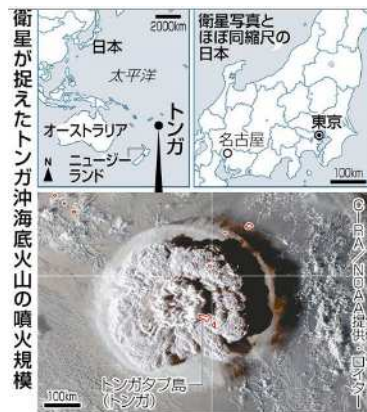
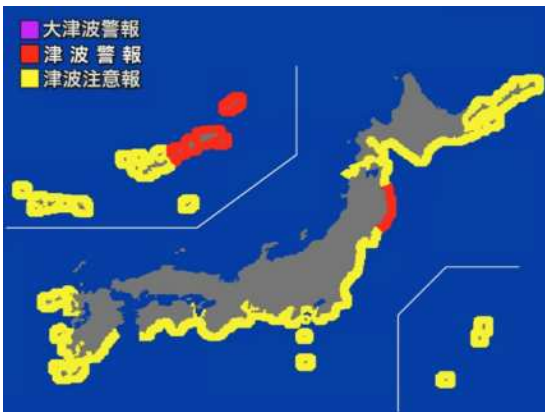
発行：豊橋市防災危機管理課  
電話：51-3126



頻発する 避難情報や警報

オオカミ少年のような おはなし

本当に「オオカミ少年効果」と呼ばれます



令和4年1月16日未明。多くの皆さんがビックリして、慌てたことと思います。気象庁より発表された津波注意報で豊橋市にも災害対策本部が設置されました。地震が起きてもないのに津波？外国からの津波？「私の生活に影響あるの？」「自分には関係ない」「スマートフォンが

何度も鳴り、うるさくて寝られない」「夜中にうるさい！」など様々な声をいただきました。豊橋でも実際に津波を観測しましたが、直接的な被害はありませんでした。

イソップ童話の「オオカミ少年」のお話をご存じでしょうか。少年は村人たちに「オオカミが来たぞー」とウソの情報

を叫びます。もちろんオオカミは来ませんでした。翌日も、その翌日も少年は同じ事をしましたが、村人たちは少年をもう信じることはなくなりました。ある日少年は本当にオオカミの群れが来ているのを見つけ、「オオカミの群れが来たぞー！」と知らせますが、誰も実際に逃げることはなく、少年を信じることはありませんでした。そのために村はオオカミにより大きな被害を受けてしまいました。

最近では、台風による暴風警報、大雨による避難指示、今回の津波注意報など、命に直結する情報を配信することはありましたが、結果的に大きな被害がなく過ぎ去っています。しかし、これを教訓に考えていただきたいと思います。

少年は本当に遠くのオオカミを発見していたのかも？「少年」を「ウソつきだ！」という結論にせず、「村人たちが「**ダメされた**」という**感覚を捨て**、命を守るための行動を最優先し、**誤報ではなく予報として考えることが非常に大切ではないでしょうか。**





